

福島を忘れるな！びわ湖を守れ！

高浜原発の再稼働に抗議！



1月29日、関西電力高浜原発3号機が再稼働されました。立地する福井県をはじめ、多くの世論調査では反対しています。高浜原発は、全国で唯一、予防的な避難を実施する5^{キロ}圏が立地県以外にもまたがる原発です。30^{キロ}圏は3府県にまたがり、18万人もの人々が住んでいますが、広域の避難訓練は1度もしないまま。いったん事故が起これば、30^{キロ}圏に被害が限定されるとは限りません。近畿の命の水源地、びわ湖が汚染されれば、影響の大きさは計りしれません。なのに、関電は周辺自治体の同意は必要ないとしています。

ウラン、プルトニウム燃料を使うプルサーマルをおこなう原発として稼働は初めてです。制御棒の利きが悪くなるといわれ、事故時に有害なプルトニウムが環境中に漏えいする危険も高くなります。危険な高浜原発の強引な再稼働に断固抗議します。



☆2月定例会議（予定）のお知らせ

2月17日 開会
19日 代表質問
23日（正午） 請願書の締切り
24日～29日 質疑・一般質問
3月 1日～ 7日 予算特別委員会
3月 8日～15日 各常任委員会・特別委員会
3月18日 閉会



高浜原発の再稼働の中止を求めよ

1月22日、日本共産党県議団は、関電の八木社長が来県した際（25日）に、「安全協定」を締結することを見合せ、高浜原発3号機の再稼働の中止を必ず求めるよう三日月知事宛に要望。対応した西川防災危機管理監は必ず伝えるとしました。25日、高浜原発3号機の再稼働直前に、再稼働の同意権すら含まない「安全協定」を結ぶことは、再稼働を認めて後押しすることになるものです。「多重防護体制が確立されておらず、再稼働を容認できる環境にない」という知事発言と相反するもので、とうてい県民の理解は得られません。

**みちよの
かけ歩き（記）**

いのちの叫びに涙して・・・

— 大規模校解消など障害児教育の改善を 署名提出 —

1月29日「滋賀の障害児教育をよくしてほしい」と30,682筆の「スマイル署名」が、三日月知事、河原教育長宛てに提出されました。「子どもたちはいっしょうけんめい
に生きている。学校でどう生活しているのか見に来てください」「『暑いんです』『苦しいんです』と言えない子どもたち。エアコンをつけてもらえない。命にかかわります」と。特別支援教育室に対して、養護学校の大規模化、校舎の老朽化、希望者が入れない寄宿舎、教員不足など切実な声が出され、私はみなさんのいのちの叫びに何度も涙しました。知事や教育長に、この声を聞いてほしい。2月1日、共産党県議団と知事との政策懇談会の際にも強く求めました。

（ふしき）



生活相談会（無料）をおこなっています
 第1・3月曜日 午後3時～5時
 ふしきみちよ事務所にて ※秘密厳守